

▲△▲ 阿弥陀岳中央稜 ▲△▲

(報告) T.A

◎山行日：2019.7.26 日帰り 単独

◎天気：午前中は曇りときどき小雨（午後は多少薄日もさす）

◎主なコース：舟山十字路～阿弥陀岳中央稜～阿弥陀岳～御小屋尾根下降

長雨もようやく収まりそうなので山行を考えた。どこがいいか迷っているうちに、久しぶりに阿弥陀岳中央稜にでも行ってみようと思い立ち計画した。

【舟山十字路～中央稜取り付け】

舟山十字路まで車で入る。思ったより天気が悪く、小雨がぱらつく空模様であった。7：40出発。ゲートからすぐのところで、下山に使うハイキングコースを左に見送る。

40分ほどで南稜への道がある。中央稜へはそのまま林道を進む。ケルンのある堰堤で広河原沢を左岸に渡り（水はない）二俣まで踏み跡をたどる。二俣辺りは長雨のせいかわずいぶん荒れていてやや迷った。右俣の右岸からすぐのところに尾根に向かう踏み跡があるがこれは中山に向かうものなので、そのまま本谷沿いを進む。右岸と左岸を何度か渡り返しながら踏み跡を行くと中央稜の取り付けに着く。



広河原沢左岸の道

【中央稜取り付け～阿弥陀岳】

中央稜取り付けから急斜面を登る。高度は稼げるがこの辺りが一番きつかつ

た。傾斜が緩くなると中山からの踏み跡と合流する。(ケルンがある)しばらく尾根に行くが、雲が多くたまに稜線(南稜)が見える程度であった。

40分ほどで下の岩壁帯に出る。基部を回り込んでいる踏み跡をたどりルンゼ状の急斜面から尾根に出る。じきに上の岩壁帯となるが今度は左へトラバースしやはり急斜面を回り込んで尾根に出る。

急な尾根をひたすら登るとやがて御小屋尾根からのコースと合流する。(この辺りは眺めがとても良いはずなのだが・・・)岩稜の尾根を進むとハシゴと鎖のあるギャップに出る。ここを越えると阿弥陀岳である。山頂には数人の登山者。周りはガスで展望もないので早々に下山とする。



下の岩壁帯



ハシゴと鎖のギャップ



【阿弥陀岳～御小屋尾根～舟山十字路】

山頂から御小屋尾根分岐までもどり下降に入る。上部はガレ場で歩きづらい。1時間ほどで不動清水入口。さらに40分弱で御小屋山に到着。御小屋山のすぐ下に舟山十字路と美濃戸口の分岐がある。ここから山腹を下って行くが、ダラダラとした下りでとても長く感じた。だいぶ嫌気がさした頃ようやく舟山十字路に着いた。



※早朝からの運転でやや疲れたが、前回(8年前)のことを思い出しながらかしく歩くことができ充実した1日であった。

以上



【コースタイム】

舟山十字路 740→ケルンのある堰堤 824～830→広河原沢二俣 840→中央稜取付き

920～925→下の岩壁帯 1040→上の岩壁帯 1115→御小屋尾根との合流点 1150→阿弥陀岳 1203・・・御小屋尾根下降点 1213～30→不動清水入口 1329→御小屋山 1406→舟山十字路 1503